

中央畜産研修施設管理・運営事業の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

○業務内容：独立行政法人家畜改良センターの中央畜産研修施設（福島県西郷村）の管理・運営事業

（１）研修施設の管理業務

清掃、浴室業務、研修施設全体の保守・点検

（２）研修施設の運營業務

宿泊業務、教室利用調整、食堂運営、料金徴収、利用者へのサービス提供等

○契約期間：平成 24 年 4 月から平成 27 年 3 月までの 3 年間

（今期は民間競争入札の 2 期目。1 期目は平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月の 3 年間）

2. 実施状況に関する評価

○確保されるべき質の確保（アンケート結果）

すべての研修施設利用者に対して、利用期間終了の都度、ⅠからⅢの項目について、5 段階でアンケートを実施し、「良い」及び「やや良い」の回答を基準回答割合以上得ることとしている。

平成 24 年度及び 25 年度の 2 か年とも基準を大幅に上回っており、本事業において求められるサービスの質は確保されている。

評価項目	Ⅰ. 全体として清掃・整頓は行き届いていましたか	Ⅱ. 全体として食堂・食事に満足されましたか	Ⅲ. 全体としてスタッフの対応に満足されましたか
基準回答割合	75%	65%	75%
平成 24 年度	97%	86%	95%
平成 25 年度	97%	89%	96%

○民間事業者からの改善実施

民間事業者自らの改善提案に基づき、清掃業務における床洗浄ワックス掛けの工夫、朝食のバイキング方式への変更などが行われたことは、民間事業者の創意工夫が十分発揮され、当施設が効率的かつ安定的に管理運営されるとともに、利用者にとって快適であることに一層寄与したと評価できる。

3. 実施経費に関する評価

契約金額の年度換算額は 9,480,000 円（税抜き）であり、民間競争入札を導入する以前の従来経費 10,871,000 円（平成 19 年度経費）と比較して、1,391,000 円（▲12.8%）の経費縮減が図られていると評価できる。

4. 今後の事業について

民間競争入札の導入により、公共サービスの質の確保及び実施経費の削減の双方が実現している。更に民間事業者の創意工夫も十分発揮されていることから、良好な実施状況であると評価できる。

このため、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針(平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会)」Ⅱ. 1. (1)の基準に基づき、今期をもって市場化テストを終了し、次期においては、独立行政法人家畜改良センターが自ら公共サービスの質の維持向上及びコストの削減を図り、事業を実施することが適当であると考えられる。センターに設置された市場化テスト評価委員会の意見を適切に反映し、事業を実施していくことが必要である。

以上